

平成21年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	2. 総務費	事業名	4. 防災施設整備費					
項	1. 総務管理費	細事業名						
目	12. 防災対策費	担当課・係	交通防災課		(執行課: 交通防災課)			

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位: 千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	30,392	要求									30,392
決定額			決定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施策	多彩なふれあいが広がるまちづくり/災害に強いまちづくり/防災行政無線や防災井戸等を整備します。						
	【災害対策設備の整備に関する業務】	施策体系コード	05-03-01-10-10			事業番号	73-1		
	防災井戸及び防災行政無線等を整備します。また、佐倉市国民保護計画に基づき、J-ALERT導入について、調査・研究します。	総事業費	99,283千円			事業期間	平成18年度～平成22年度		
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度		
			630	6,730	30,765	30,393	30,765		
		(事業実施に関する根拠法令) 災害対策基本法							

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 市内4箇所に防災行政無線子局の整備と各広域避難場所となる小・中学校、高校など4か所に防災井戸の整備を行う。また、全国瞬時警報システムに対応するため、既存の防災行政無線の親卓改造を行う。	(事業の目的) 災害に対する注意喚起情報や、発災時の情報を的確に伝達するため、防災行政無線等の整備を行うとともに、水の確保のため各広域避難所へ防災井戸の整備を行う。また、緊急地震速報や国民保護法の対象となる緊急対処事態における情報伝達のため、全国瞬時警報システムの整備を行う。	(事業の効果) 防災施設設備を充実させることにより、災害発生時の早期対応が可能となり、減災や早期復興を図ることができる。
(事業実施上の問題点) 施設整備を行うことにより、防災行政無線においては保守点検やバッテリー交換、また防災井戸については、水質検査などの維持管理費が必要となる。	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)